

「人生で大事なこと」

250925

最近読んだ本のなかで、なるほどと思った本の内容を紹介します。

それは、「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」という本です。保育園や幼稚園時代に砂場で友達と遊んだ記憶があると思います。大きくなって大切なことは、幼い頃に砂場で遊んでいるときにちゃんと学んでいるということが書かれていました。その中から一部を紹介します。

保育園や幼稚園の砂場で学んだこととして、

何でもみんなで分け合うこと

ずるをしないこと

人をぶたないこと

使ったものは必ずもとの所へ戻すこと

散らかしたら自分で後かたづけをすること

人のものに手を出さないこと

誰かを傷つけたら「ごめんなさい」ということ

……不思議だな、と思う気持ちを大切にすること

今でも、この内容で家族や先生から声をかけられているという人もいることでしょう。でも、それは、おかしいことでも、恥ずかしいことでもなく、大人になっても、大切にしなければいけないことだということです。多くの人とかかわって生きていくためには、変わらない大切なことがあるんだなあ、家族以外の人とかかわる保育園、幼稚園で、ちゃんと教えてもらっていたんだなあと改めて思いました。

<参考文献> ロバートフルガム：著／池央耿・翻訳

「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」 河出書房新社 1996 年